

平成28年11月22日
道 路 局

2020年までの逆走事故ゼロを目指し逆走対策技術を公募します

高速道路における逆走車両の自動での検知、警告、誘導する技術の募集を、11月22日(火)から行います。平成29年度に実道で検証し、平成30年度からの実用化を目指します。なお、公募は東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社により行います。

国土交通省では、平成27年11月に「2020年までに高速道路での逆走事故ゼロを目指す」目標を公表しました。また、平成28年3月には「高速道路での今後の逆走対策に関するロードマップ」を策定し、道路側、運転者側、自動車側それぞれから、ハード・ソフト面での重層的な逆走対策を講じていくこととしています。

現在、IC・JCT部等での物理的・視覚的対策等を進めており、対策のより一層の推進をはかるため、民間企業から逆走対策技術を求めることとしました。今回の公募では、逆走車両の自動検知、警告、誘導する技術等を募集します。平成29年度に実道での検証を行い、平成30年度からの実用化を目指します。

《募集要項等》

募集要項等の詳細な情報については、以下のリンク先に掲載します。

<http://corp.w-nexco.co.jp/procurement/others/technology/>

リンク先へは、高速道路会社ウェブサイト等に掲載するバナー(右図)からもアクセスが可能です。

**逆走対策の
技術開発公募**

(NEXCO東日本・中日本・西日本)

《添付資料》

別紙 高速道路における逆走対策技術の公募(概要)

参考 高速道路での逆走の発生状況及び対策実施例

問合せ先

【高速道路での逆走対策に関すること】

高速道路課 有料道路調整室 課長補佐 門間 正拳

03-5253-8111(内線 38382) 03-5253-8491(直通) 03-5253-1619(FAX)

【無料の高速道路での逆走対策に関すること】

国道・防災課 企画専門官 依田 秀則

03-5253-8111(内線 37832) 03-5253-8492(直通) 03-5253-1620(FAX)

【自動車等との連携に関すること】

道路交通管理課 ITS推進室 課長補佐 糸氏 敏郎

03-5253-8111(内線 37462) 03-5253-8484(直通) 03-5253-1617(FAX)

【別紙】高速道路における逆走対策技術の公募(概要)

■公募期間

平成28年11月～平成29年2月

■試行期間

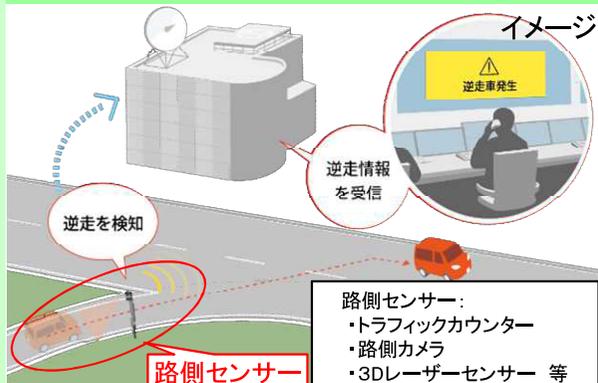
平成29年4月から概ね1年程度

※ :公募テーマⅠ、 :公募テーマⅡ、 :公募テーマⅢ

【検知】

○道路側で逆走を発見し、その情報を収集する技術

- ・トラフィックカウンター等の路側機器・路側センサーの活用
- ・道路管制センターとの連動 等



【警告】

○車載機器により逆走車両へ注意喚起する技術

- ・カーナビのGPS機能により逆走を判断し、ドライバーに対し警告 等



【誘導】

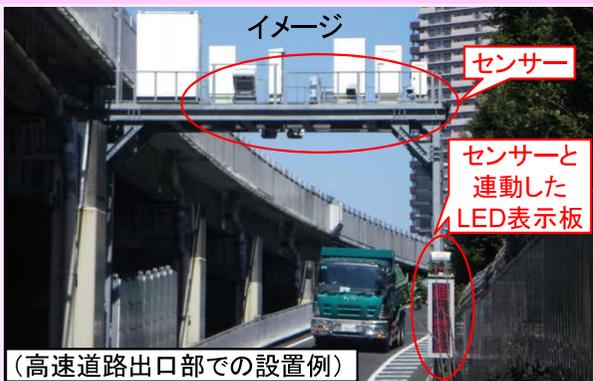
○自動車側で逆走を発見し、その情報を収集した上で誘導する技術

- ・車載カメラにより標識を認証して逆走を判断し、ドライバーに対し誘導 等



○道路側での逆走車両への注意喚起

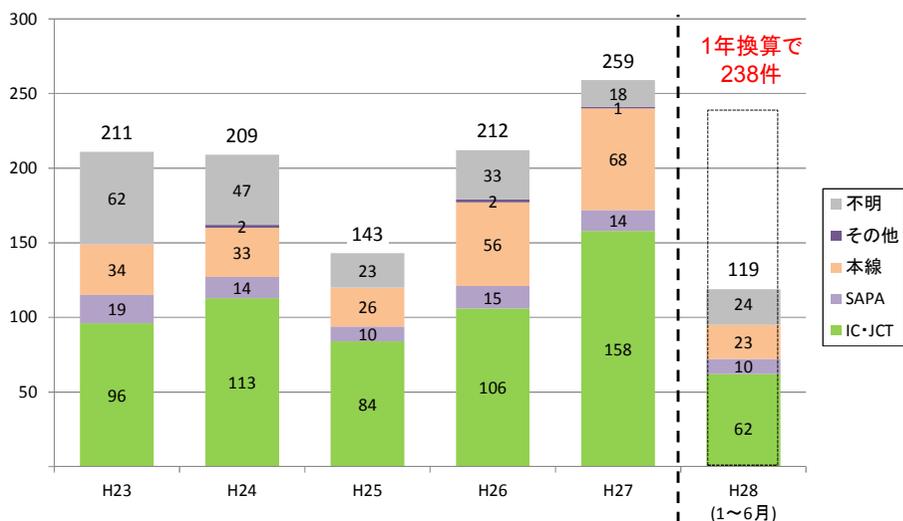
- ・センサーとLED表示板・音・光等を用いた注意喚起 等



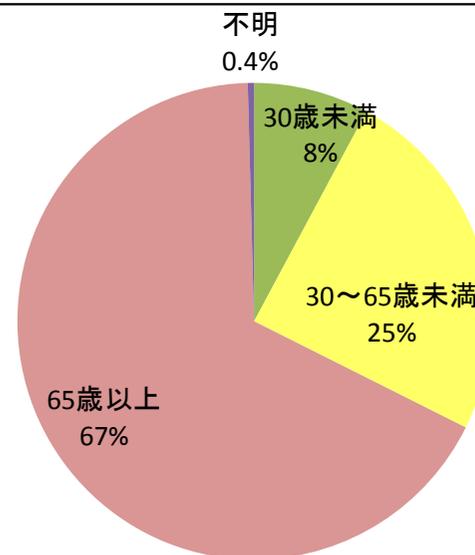
○物理的・視覚的誘導

【参考】高速道路での逆走事案の発生状況

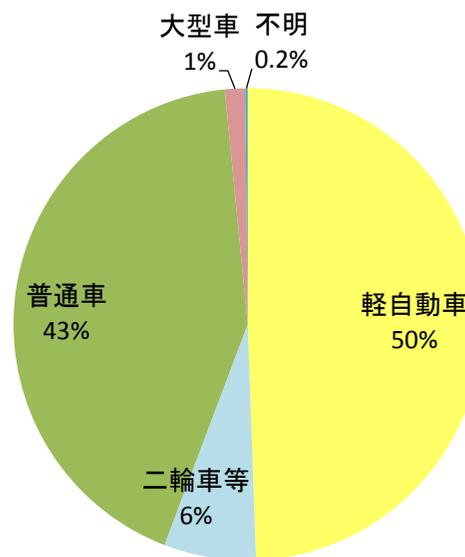
- 逆走の約5割はインターチェンジ(IC)、ジャンクション(JCT)で発生
- 運転者の約7割は65歳以上
- 逆走車の約5割が軽自動車



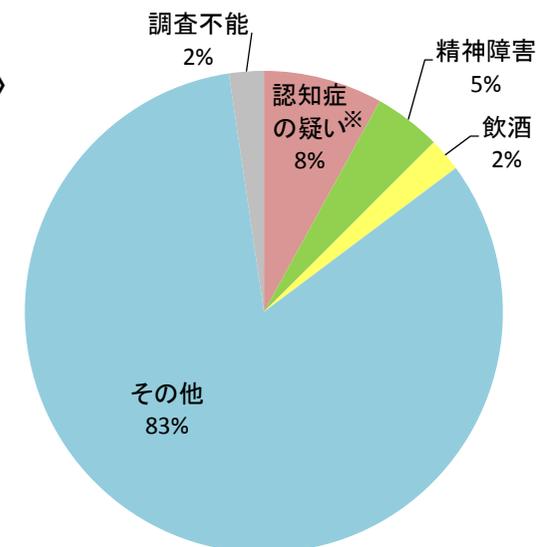
〈逆走発生件数の推移と発生箇所〉



〈運転者の年齢〉



〈逆走車の車種区分〉



〈運転者の状態〉

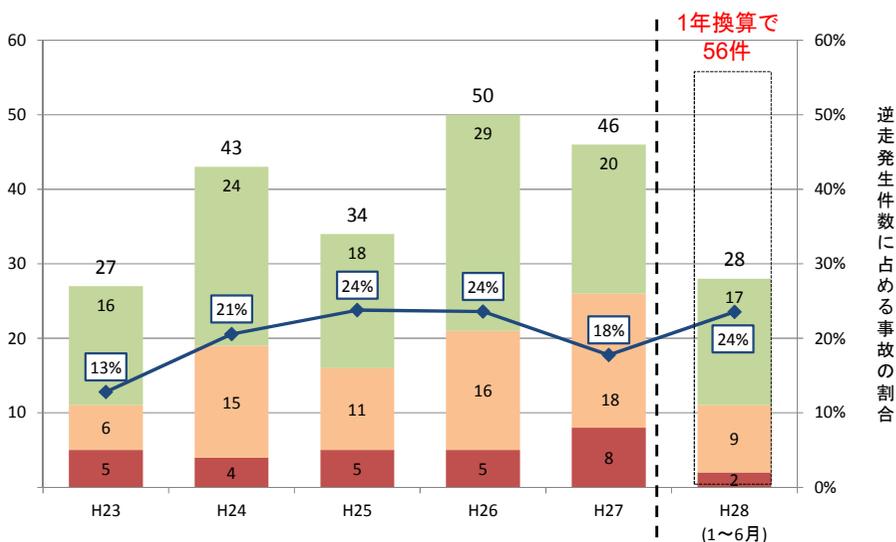
データ: H23~28年(H28年は1月~6月のみ)の高速道路(国土交通省及び高速道路会社管理)における事故または確保に至った逆走事案(全1,153件)
 出典: 警察の協力を得て国土交通省・高速道路会社が作成

※「認知症の疑い」とは、家族からの聴取等により、運転者に認知症の疑いがあると判断したもの

【参考】高速道路での逆走事故の発生状況(1/2)

- 逆走発生件数に占める事故の割合は約2割
- 運転者の年齢は、逆走事案全体と比べ、65歳以上の割合が減少し、30～65歳未満の割合が増加

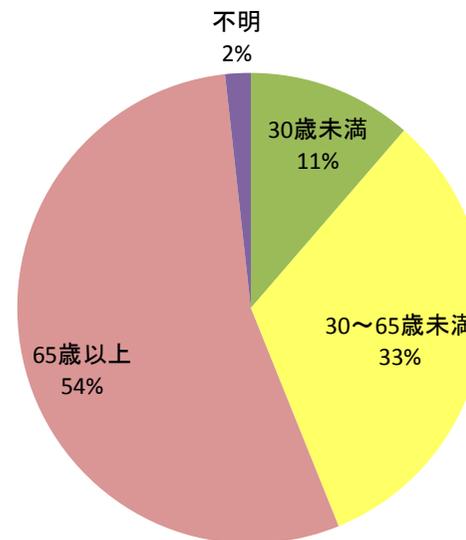
■ 死亡事故 ■ 人身事故 ■ 物損事故
◆ 逆走発生件数全体に占める事故の割合



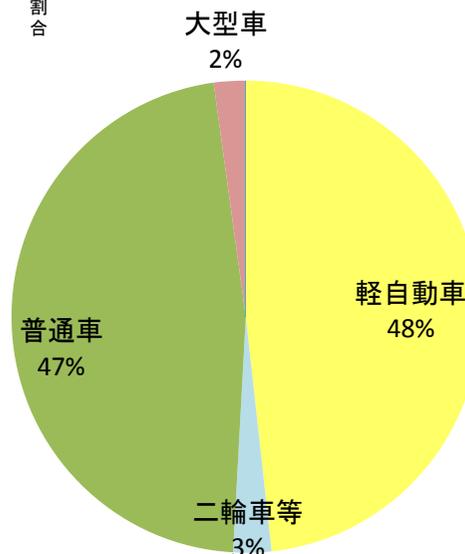
〈逆走事故件数の推移〉

データ: H23～28年(H28年は1月～6月のみ)の高速道路(国土交通省及び高速道路会社管理)における逆走による事故件数(全228件)

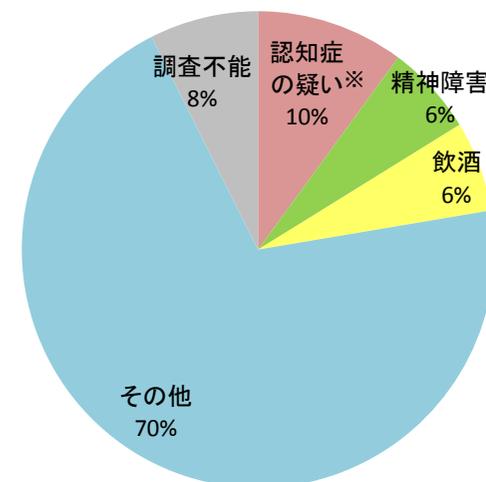
出典: 警察の協力を得て国土交通省・高速道路会社が作成



〈運転者の年齢〉



〈逆走車の車種区分〉



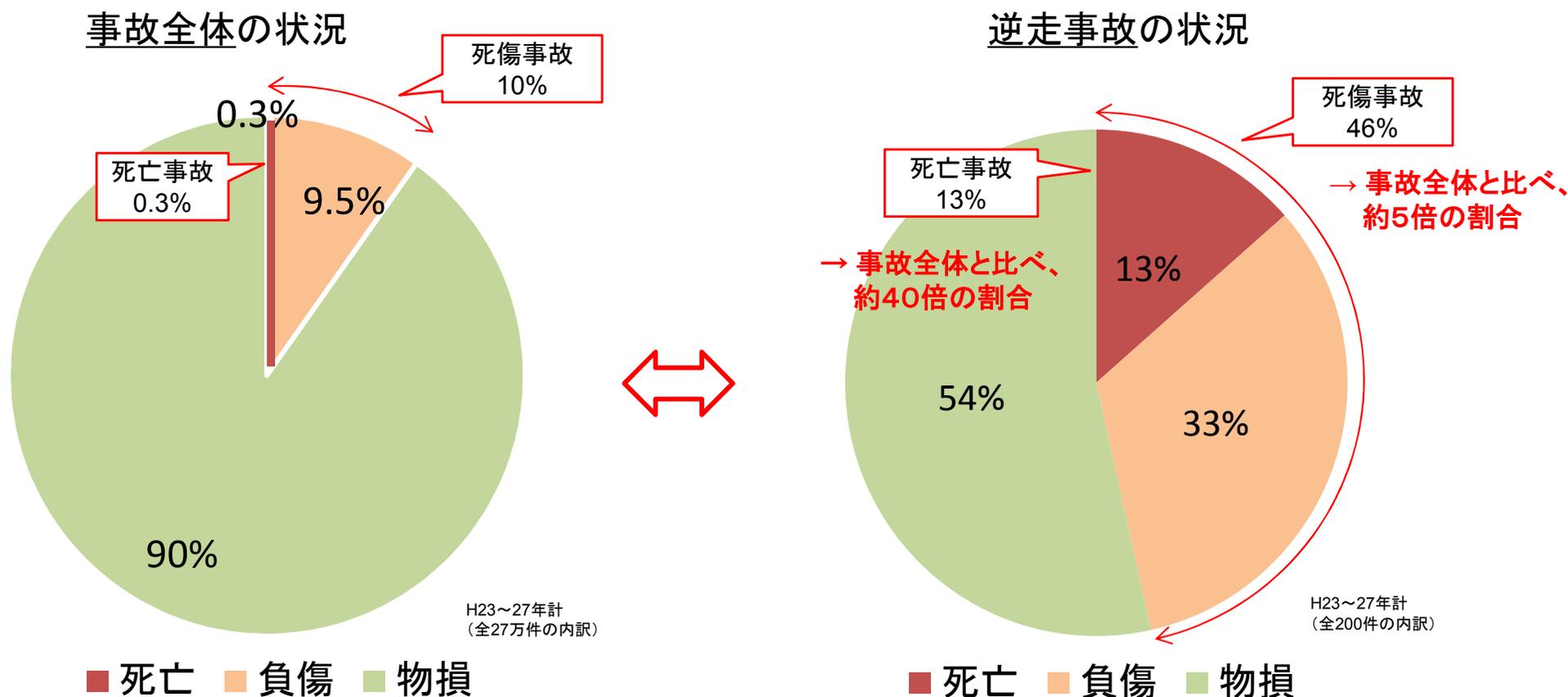
〈運転者の状態〉

※「認知症の疑い」とは、家族からの聴取等により、運転者に認知症の疑いがあると判断したもの

【参考】高速道路での逆走事故の発生状況(2/2)

○ 高速道路での逆走は、高速道路での事故全体と比較して、死傷事故となる割合が約5倍、死亡事故となる割合が約40倍

〈事故全体と逆走事故の傾向比較〉



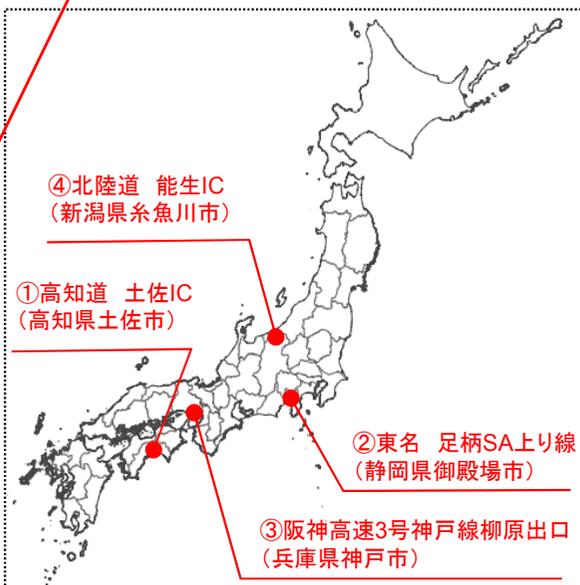
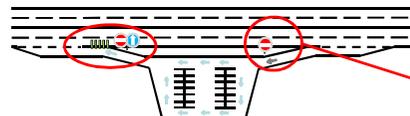
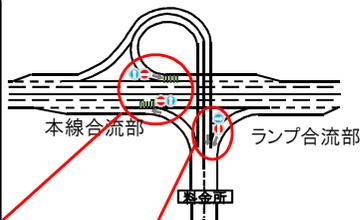
【参考】高速道路での逆走の対策実施例

① インターチェンジ・ジャンクション部

【本線合流部】



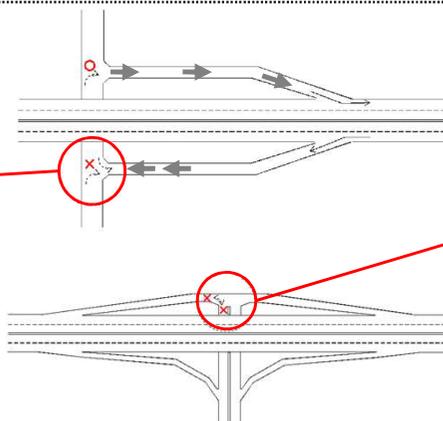
【ランプ合流部】



② サービスエリア・パーキングエリア



③ 高速道路出口部



④ 平面Y型インターチェンジ

